

## 五月の園藝

東京女高師教授 有川ひさる

### ○幼稚園の花祭り

四月末から、五月にかけては、一年中の花時はなときで牡丹、芍薬、花菖蒲、其他躑躅つばきでも、百合でも、世界が花に満ちる時である。

五月一日は、英國では昔からメイデー(May day)といつて、花を祝ふ習慣がある。これには、村や町で、土地での美しい少女をとめを選んで、メークキン(May queen)にしたてる。クミンはホーンン(Hornhorn)や、いろいろの花で作つた冠をかぶり、花や、リボンで美しく飾られる。さうして、五色のリボンを長くひいたメーポール May pole を建て、其園はなりで、花に埋れた多くの少女がメイダンス Maydance をして、舞ひ狂ふのである。

メーポールは毎年此日に伐つて、牡牛おしにひかせ

て來るので、ポールも牛も、きれいに花や、リボンで飾られる。

この習慣は米國にも傳はつて、カレーヂ等でも學生は此日には午後の課業を休んで、膝までの可愛い服に着かへ、花を手にして、子供の氣になつて、おどり暮すさうである。

花祭りの行事は、何れの地方でも、種々の趣向で行はれて居る。米國ポートランドは、バラの國と云はれるとほり、バラが多いが、毎年バラ祭りを行ふのも其類たぐひであらう。

近來は日本にも、是等の習慣が傳はつて、教會の日曜學校では、五月に、花祭りはなまつりといつて、會堂を、小供の持ち寄つた花で飾り立て、こゝで暗誦をしたり、讚美歌をうたつたりして、その祭のあとでは、飾つた花を、病院に持つていつて、氣の毒

な人々を、慰めたりする。これは又、大人からクリスマスに祝はれたお禮に、子供が大人を招待するつもりで行つてもよいでせう。

キリスト教許りでなく、佛教でも近頃は、四月八日釋尊誕生の日を花の日と唱へて、可愛い稚子がお釋迦さまに、花供養をする習はしが盛になりました。

それでゆるすならば幼稚園にも、五月頃一日、花の日をえらんで花祭りを行ふことにしたいと思ふ。

小供に夫れ夫れ、家で作つた花でも、なければ野から集めて來たのでも持ちよらせ、又朝夕みんなで丹精した學校の庭の花でもつて室の窓から、天井から、小さい卓から、めいめいのベンチまですきに飾らせる、又小供の胸にも頭にも、亦先生にも同じやうにお互に飾りあつて、ほんとうにみんなが花になつてしまつた氣分で半日をうたつたりおどつたりして過したい。

さうして花祭りの前日頃には、附近の野にでも山にでも、一同で出かけて、思ひ思ひに採集して來るのもよろしかろう。英國のメイデーには、前夜、男女は組をつくつて、森や林に出かけ、花を集めて歩き、夜の明ける頃に歸つて來る風習さへあるさうである。

幼稚園では花祭りには、先輩の姉さま兄さまを招待し、おみやげにやはり花をもつてきて貰ふこともよろしからう、小さい人々へのおみやげに、花束作る招かれた人々の心地も、亦たのしいものであらう。趣向等はだんだん當路の方々に御研究を願ひ、追々實行が出来るやうになつたらばと切に希望する。

### ○朝顔の栽培

朝顔は寒さに弱いものであるから、他の草花よりは遅く、大抵今月中が播き時である。朝顔には普通に見る漏斗狀の大輪咲と、花形が風鈴や、撫

子等のやうに變つた變化咲と二種ある。變化咲の方は一層寒さに弱いので、六月に播く人が多い。

變化咲の方は栽培が困難であるし、又小供には面白味がわからないから、無論大輪種にすべきである。特に注意したいと思ふ事は、同じ大輪種の内にも、同一の手入をして、極く大きく咲くものと、さうでないものとある故、自宅から持参させるにしても、先生から與へるにしても、せい／＼吟味して、良い種類を選びたい。種子商等から買つてはよい種類はない。素人栽培家の好意を依頼するが何よりである、菊にしても、朝顔にしても亦他の花や蔬菜にしても、種類によつて出来ばえがちがふのであるから、子供にむだ骨ををらせぬやう、仕事にはりあひをつけるためには是非種類が大切である。

土は冬の間から準備して置いたゴミ土に、凡そ等量の川砂を加へて用ふると、よく肥えてしかも排水が良い爲め、植物がしつかりして、大輪の花

をつける事が出来る。

初めは極く小形の鉢に蒔き、漸次大鉢に移して行く筈であるが、さう幾種もの鉢を買ふといふことは容易でない。それで初めから五寸鉢(口径)に少な目に土を入れ、二三粒蒔き、其中のしつかりした出来の良い苗一本を残り他を間引き去り、苗の生長につれて、不足の土を足してやるとよい。さうして此鉢のまゝ花を咲かしても、今一回、六寸鉢に移してもよい。

双葉が出て後、本葉が四五枚出た時、心芽を摘むと、この摘み口に近く、新しい蔓が出る。これには大抵蕾がつくが、數寸も伸びても蕾の見えぬやうなら、今一回其蔓を二三節摘むと、今度出る蔓には必ず蕾がつく。此頃になると手工で思ひひの形に支柱を作つて建て、もよいし、又三四本の蔓を形よく垂れさせて懸崖にしてもよい。

肥料は毎日一回水代りに、鶏屎か油粕かの液のよく腐つたのを稀くして、施すとよい。土がよく

乾くやうに砂を多くして置いて、これに肥料を充分に與へるとどうも出來がよいやうであるが、肥料の分量などは、小供に隨意にさせて後、花が咲いてから互に較べさせて見るのもおもしろい。

夏休暇中は、家に持たせて歸ればよいが、とかく休みを前にひかへて居るから、種子蒔はせいぜい早くし、花を少しでも早く咲かせるやうにした。それには種子の眼めといつて、種子が莢の中にある時、莢に附着する部分、即ち蠶豆からよめで俗におはぐろといつて居る處、此部分（黒い點になつて居る）の皮を小刀で僅かに削りとり、水を吸ひ易いやうにして、これを砂にまき、硝子板を蓋ふたにして置くと、鉢内が温かいため早く發芽はつちすることが出来る。

毎日充分日光にあて、枝葉が萎れる位にして、夕刻にたつぷりと水を與へる。日があたらず、土が乾かぬと、とかく枝葉のみ繁茂して、花が小くなる、花は午前中日蔭で眺めたら、正午迄には必

ず摘み去つて、日なたに出すのである。

種子は九月にもなり花の盛りが過ぎてから結ばせればよい。花を見る間から實を着けると、これ亦花を小さくしてしまふ恐れがある。

### ○静岡縣保育會總會

同會は去る四月廿七日修善寺温泉の修善寺に於て開催せらる。

同寺住職丘球學氏は兼ねてより幼児教育に多大の興味をもたれ境内にも幼稚園を設立經營され居る程なるが當日も氏自ら率先して幹旋の勞をとらる。縣下の幼稚園關係者多數會合し倉橋惣三氏の講演あり、中々の盛會なりき。

折柄新緑滴るばかりの温泉は一層この催しを愉快ならしめぬ。